

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	協働で進めるまちづくりプロジェクト		実施期間	H23～H29	テーマ	地域活性化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>ライフスタイルの多様化や洋装化等による着物離れの影響を受け、当町の主要産品である丹後ちりめんの生産量は、最盛期の昭和48年に比べ約89%の減となっており、主要産業である織物業の衰退が顕著に現れ、長引く不況もあいまって地域経済も疲弊している現状である。</p> <p>そのような時勢の中で、長い歴史により培われた織物技術を活かし、和装だけに捉われない新たな商品の開発や、日本の伝統文化の一つである着物の素晴らしさを全国にPRする活動等により織物業の活性化を図るとともに、当町のもう一つの主要産業である農林業、そして豊かな自然を活かした観光や商工業の分野でも振興を図ることで、長引く不況下で疲弊する地域経済の活性化が求められているところである。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>「協働で進めるまちづくり」のため、地域コミュニティの振興を図り、元気な地域を作るとともに、まちづくりを担う多様な団体事業者等の育成に努める。</p>							
	総事業費（千円）	87,489	本年度事業費（千円）	15,623	交付金額（千円）	7,811		
プロジェクトを構成する事業の平成23年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	住民自治支援事業	交付対象事業	自治振興補助金の交付			町内の自治会など25事業を支援		
	地区公民館整備事業	交付対象事業	自治活動の拠点となる公民館の整備事業			三河内公民館の修繕		
	職員出前講座	関連事業	各分野の担当職員による出前講座の実施事業			町内各著で127件実施。2,477人参加		
住民協働事業	町政懇談会開催事業	関連事業	町長と住民の対話事業			庁舎統合問題を中心に町内24箇所で開催		
	公民館活動	関連事業	各自治会で住民が主体となって実施する各種事業			町内各自治会で実施		
住民が取り組む事業	「幾地芸能保存会」設立事業	関連事業	地域活性化に繋がる伝統芸能復活事業			加悦谷祭で76年ぶりに幾地神楽を実施		
成果指標①	成果指標の目標数値	職員出前講座の増加 (H22の141回からの増加)		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		平成23年度127件		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	平成22年度の目標数値はCATV拡張事業に伴うものが多く、例年より回数が多かった。平成23年度数値も与謝野町総合計画に掲げる目標数値を大きく上回るものであるが、今後も住民の要望に応じて機会の増加に努めたい。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成23年度分）

団体名：与謝野町

成果指標 ②	成果指標の目標数値	公民館活動への参加者の増 (H22の23,209人からの増加)		成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)	平成23年度25,444人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	新規事業取り組む館が増加したため、公民館活動への参加者増につながっている。地区公民館主事を主な対象とした研修会を実施することで新たな活動の増加に繋がっている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	住民自治活動の拠点となる公民館をはじめとするコミュニティ施設などの整備を、住民自らが必要に応じて行うことで、公民館活動の充実に繋がった。また、町政懇談会の実施により、住民対話の機会も増え、直に意見や要望を聞くなど、住民の声を直接町政に反映するきっかけとなった。					
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	町政懇談会などの関連事業により住民が本当に望むことを意見してもらい、本当に必要な施策の実現に繋げることができる。				
	府と市町村等との連携に資する成果	地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。				
	住民の自治意識を高める成果	住民自治活動の推進において必要な環境整備に対して支援を行うことができ、住民独自の豊かな発想による活動に繋がる。				
	リーディング・モデル成果	地域コミュニティの活性化には、その中核となる施設の整備が不可欠である。これらの施設は子供や高齢者も多く利用する機会があるため、安全化・バリアフリー化を進め、多くの住民にとって利用し易い施設とすることで、地域コミュニティ充実の役割を十分に発揮できるものとなる。				
	広域的波及成果	住民自治の拠点となる地域の集会施設等を整備することで、その施設を拠点とした様々な地域活動を実施できることとなり、地域住民が新たな活躍ができるきっかけとなる。住民が元気で活躍できるまちには笑顔が溢れ、誰もが住みたいと思えるまちに、また一歩近づくものである。				
	行財政改革に資する成果	住民自治の拠点となる施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。				
	その他の成果					

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。